

# KONOIKE ASIA (CAMBODIA) CO.,LTD のご紹介



KONOIKE  
GROUP

# 1. 弊社プロフィール

会社名 : KONOIKE ASIA(CAMBODIA) CO.,LTD.  
資本金 : USD 500,000  
出資比率 : 鴻池運輸株式会社 90%  
                  コウノイケ・ SHIPPING株式会社 10%  
事業内容 : 国際フォワーディング業、  
                  倉庫業、トラック業 他  
営業開始 : 2014年8月1日  
代表者 : 安田 智彦  
従業員数 : 22名 (日本人1名 カンボジア人21名)  
所在地 : NO.92AB,3F, STREET 289, SANGKAT  
                  BOEUNG KAK II, KHAN TOUL KORK,  
                  PHNOM PENH,CAMBOIDA



## 2. 弊社サービス内容のご紹介

各種輸送サービスを組み合わせた国際複合一貫輸送サービスをカンボジアでご提供

定温物流サービス

国際複合一貫輸送サービス

クロスボーダー輸送サービス

設備輸送サービス

## 2. 弊社サービス内容のご紹介

### 国際複合一貫輸送サービス

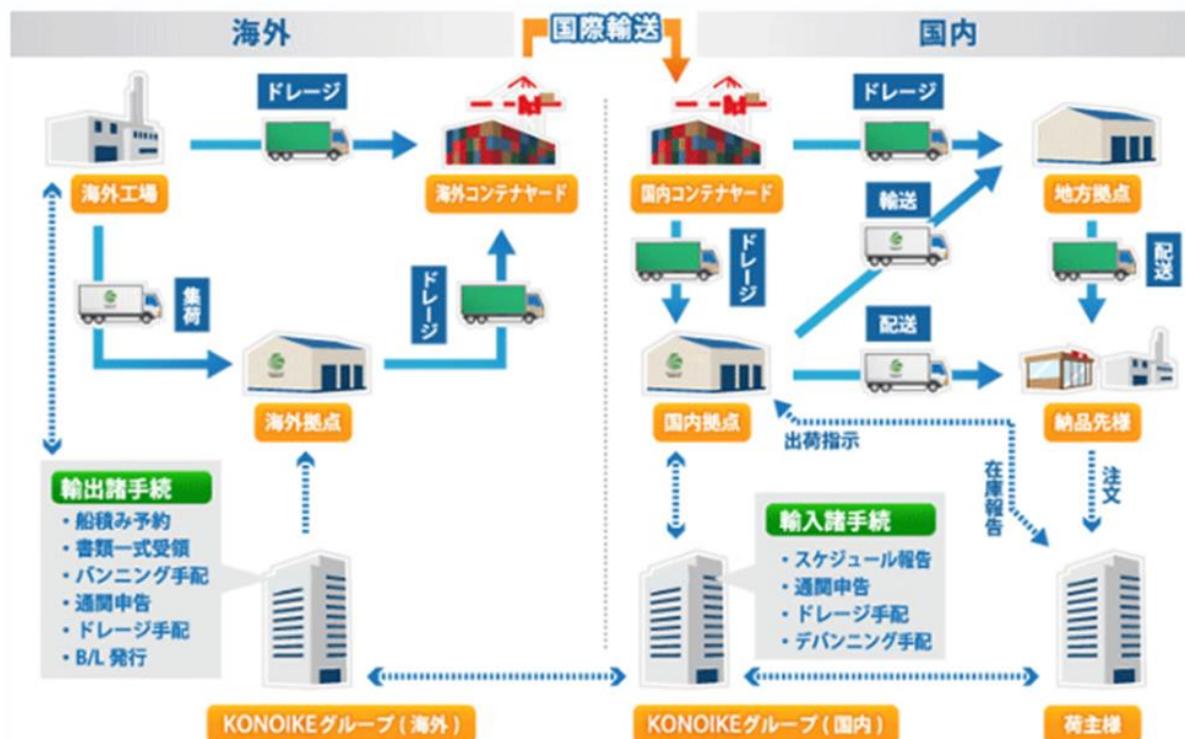
弊社の日本拠点・海外拠点を駆使した独自のグローバルネットワークにより、海上貨物・航空貨物のフォワーディング業務、輸出入貨物の倉庫業務を行っています。生鮮食品から精密部品に至る多様な貨物、さらには海外工場建設に応じたプラント輸送まで幅広く対応いたします。

#### 【日本拠点】

- ・ 国際物流関東支店  
(所在地：東京・名古屋・浜松・栃木 東日本エリア管轄)
- ・ 国際物流関西支店  
(所在地：大阪・広島・福岡 西日本エリア管轄)
- ・ 大阪港支店 (所在地：大阪)
- ・ 佐野運輸(株) (所在地：神戸)
- ・ (株)二チウン (所在地：東京・横浜)
- ・ コウノイケ・シッピング(株) (所在地：東京・大阪)

#### 【海外拠点】

- ・ 北米、中国、東南アジア、インド等  
33拠点 (現地法人 25社、駐在員事務所 8)



## 2. 弊社サービス内容のご紹介

### 定温物流サービス

カンボジア国内にて冷凍・冷蔵貨物の、輸送・保管等の定温物流サービスをご提供致します。また弊社タイ・ベトナムの定温物流拠点と連携したクロスボーダー定温輸送サービスにも対応可能です。

#### 【当社保有設備】

- ・ 2.5t 冷凍車両
- ・ 1.5t 冷凍車両
  
- ・ ドライ倉庫（レンタル倉庫） 660m<sup>2</sup>
- ・ 冷凍倉庫（レンタル倉庫） 525m<sup>2</sup>
- ・ 冷蔵倉庫（レンタル倉庫） 100m<sup>2</sup>



## 2. 弊社サービス内容のご紹介

### 冷凍倉庫写真



## 2. 弊社サービス内容のご紹介

### クロスボーダー輸送サービス

隣接するタイ・ベトナムのからトラックによる陸路輸送サービスをご提供。  
またホーチミン港を利用した、日本向けの国際複合一貫輸送サービスである  
【カンボジアエクスプレス】サービスも行っております。

#### 【カンボジア・エクスプレス】

2012年5月からスタートしたカンボジア-日本を  
【最短8日間】でつなぐサービス。

従来のカンボジアから日本への輸送は直行船がない  
国際港シアヌークビル港からシンガポール経由等で  
輸送していたため、通常【20日程度】かかっていま  
した。

KONOIKE グループでは、ベトナム・ホーチミンま  
で陸路輸送したのち、国際港ホーチミン港より直行  
船で輸送することで、最短【8日】まで短縮。



## 2. 弊社サービス内容のご紹介

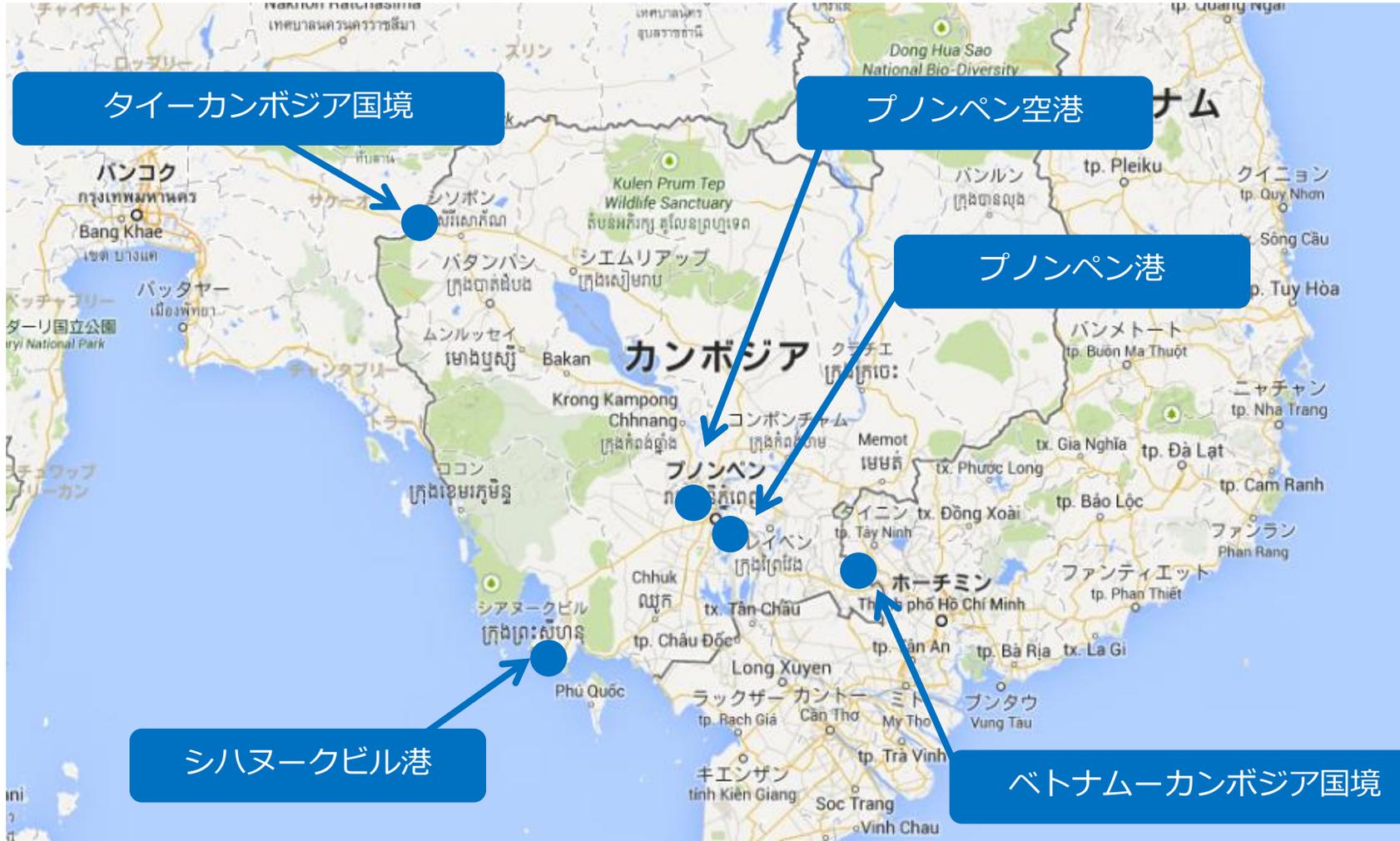
### 設備輸送サービス

国内外の資材搬出、輸送、海外での据え付け工事を一貫して取り扱うサービスです。既存設備の解体からカンボジア工場での復元まで一貫したサービスをご提供致します。海外施行経験・設備知識も豊富な当社エンジニアにより、責任を持って工事をさせていただきます。



# 3. カンボジアの物流について

カンボジアでは陸路・海路・空路と様々な輸送手段が存在

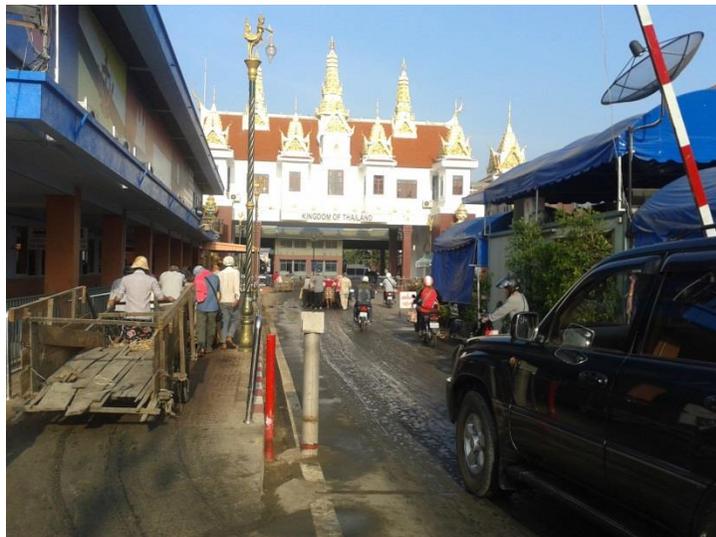


### 3. カンボジアの物流について

#### 陸上輸送

#### タイ-カンボジア国境

アランヤプラテート（タイ側）-ポイペト（カンボジア側）間が主要な国境  
タイの工場のサテライト工場として工業団地に進出した製造業の材料・製品輸送  
またタイからの食品や日用品等の輸送に良く使われている。



# 3. カンボジアの物流について

## 陸上輸送

### ベトナム－カンボジア国境

モクバイ（ベトナム側）－バベット（カンボジア側）間が主要な国境  
国境付近にある工業団地（タイセンSEZ・マンハッタンSEZ・ドラゴンキングSEZ）にある  
製造業の輸送手段として活用されている。

ホーチミン港へのアクセスが約2時間と近い為、国境－ホーチミン港の陸路輸送とホーチミン港  
を起点とした海上輸送を組み合わせた輸送が行われている。



# 3. カンボジアの物流について

## 海上輸送

### プノンペン港

プノンペン市内から約1時間の距離にある河川港。プノンペン近郊にある工業団地（プノンペンSEZ）からの利便性が良い。バージ船によりプノンペン港ーホーチミン港を輸送し、ホーチミン港で積替えて海上輸送を行う。日本向けの製品輸出等に多く利用されている。



## 3. カンボジアの物流について

### 海上輸送

#### シハヌークビル港

カンボジアで唯一の外洋に面した深水港であり、プノンペン港では入港出来ない大型船舶が入港可能。シハヌークビル周辺の工業団地にある工場の輸出入に利用される。

シンガポール・インドネシア・マレーシアとの海上輸送には非常に便利。

但し日本との輸送については、一度シンガポールでトランジットする為リードタイムが長くかかる。



# 3. カンボジアの物流について

## 航空輸送

### プノンペン空港

プノンペン市内から約30分に位置する国際港。少量の貨物や緊急貨物の輸送に利用。  
また空港内に国営の定温倉庫を有している為、レストラン等で使われる食材の輸入時に利用  
されることも多い。



### 3. カンボジアの物流について

#### 投資優遇制度

適格投資プロジェクト（Qualified Investment project : QIP）の認可を受けるには CDC（Council for the Development of Cambodia:カンボジア開発評議会）宛に申請を行う必要がある。QIPに認定されれば、下記の税務面での恩恵が受けられる。

- ・ 最大9年間の法人税免除
- ・ 輸出加工型QIPは原材料、建設資材、生産設備の輸入関税免除  
（経済特区外輸出加工型QIPは輸入時支払、輸出時還付）
- ・ 国内市場型QIPは建設資材、生産設備の輸入関税免税
- ・ 輸出関税の100%免除
- ・ 経済特別区への進出や、縫製業等の特別分野においては、QIPと同様の優遇措置に加え、付加価値税(VAT)10%が全ての業種で免除

## 3. カンボジアの物流について

### 通関制度

カンボジアには経済財政省管轄の税関と商業省管轄のカムコントロールという2つの機関が存在、それぞれの機関に申告を行う必要がある為、申告手続きが煩雑で通関料も高額であったが、2019年2月よりカムコントロールが撤廃されたことにより、改善されたものの、近隣国と比較すると依然高額である。

#### \*税関

プノンペンにある関税消費税総局（GDCE: General Department of Customs and Excise）と各港、国境にある支局がある。輸出入される貨物については、まずはGDCEにて関税の計算（Customs Evaluation: CDCマスターリスト使用による免税輸入の際は不要）が行われ、その承認を受けた後に、各税関支局へ輸出入申告を行う必要がある。

#### \*カムコントロール（CAMCONTROL : Cambodia Import Export Inspection and Fraud Repression Department）

輸出入貨物の安全性・品質に問題無いかを検査する機関。現状ほぼ全ての貨物についてカムコントロールの検査が必須となっており、カンボジアの通関料が高額になる要因の一つとなっている。2019年2月に全貨物に対する検査は撤廃され、税関が指定する一部の貨物（食品等）についての検査のみとなった。

## 4. 南部経済回廊について



## 4. 南部経済回廊について

### つばさ橋開通

2015年4月6日にホーチミン-プノンペン間を走る国道一号線を分断していたメコン川に、日本の無償資金協力によるつばさ橋（ネアックルン橋梁）が開通した。この橋の完成でベトナム・カンボジア・タイにまたがり、ASEANの大動脈と呼ばれる南部経済回廊が一本の道路で結ばれることになり、ASEAN域内の物流が更に活発になることが期待される。



## 4. 南部経済回廊について



## 担当者連絡先

安田 Tel : +855-(0)976-804-831  
Mail : yasuda.to@jpb.konoike.net



**KONOIKE  
GROUP**